

招き猫選手権 2018

受賞作品



2018年の年明けより1か月間、1Fのウィンドウギャラリーをにぎやかに飾ってくれた招き猫たち。たくさんのご応募の中から選出された受賞作品をご紹介します。ご出品いただいた方々、また人気投票(ポピュラー賞)にご参加いただきました方々、誠にありがとうございました!



★最優秀賞★ 三倉 理恵子 様

〈選評〉一見して力強さを感じさせてくれる作品です。柄は伝統的な日本の文様の数々ですが、自由自在と呼ぶにふさわしいアレンジで、それでいてメリハリを効かせて配置されています。目にはラインストーン、まつ毛もパッチリと入り、和のテイストでも表情は現代的。勢いのある筆致と相まって、かわいらしさもあり、そしてとてもエネルギーにあふれている招き猫です。

〈受賞コメント〉昨年ポピュラー賞を受賞してから『招き猫の輪』が広がり、この一年間に制作した招き猫は100体を数えます。絵柄を何パターンも考えましたが、今回の九谷風柄は実は試作です。書黒の線描きに色伏せ、焼き縮みもありましたが、最優秀賞とは…驚いています。陶画舎5年在籍。まだまだ取得すべき技法は多く、精進あるのみ!!です。先生方のご指導に感謝しております。



★優秀賞★ 遠藤 史子 様

〈選評〉ある意味問題作かもしれませんが、この顔を描かない大胆さと、縁起の良さそうなそうでないような、もしかしたら作者はあまり計画を立てずに描いたのかもと思わせる、このカルタ風文字のデザインはやはり他にはありません。色も和っぽすぎず、モダンで洒脱。でもちゃんとおめでた感もある。そして筆の上手さが図抜けています。

〈受賞コメント〉いつもザックリ計画、追い追い描き、そして自己満足の世界。今回はいつか描きたいと思っていた日本独特のひらがなとポジティブな漢字。小さくて複雑な出で立ちの白磁に単純な丸と四角に苦戦し、一字一字何度も重ね描きをしているうちに文字に見えなくなる錯覚も。新しい一年の始まりに思いがけない受賞、感謝感激でございます。一文字で現すならば正に『喜』であります。



★特別賞★ 南條 眞紀子 様

〈選評〉是非近くで見たい作品です。それぞれ〈夏〉〈冬〉バージョンの猫で、季節を感じさせるモチーフが色々描き込まれています。特にサンタ猫の右足に描かれたトナカイとサンタのシルエットの細かさ。赤も鮮やかに焼き上がっています。何より、『楽しく描いている』雰囲気がとても良く伝わってくるのが一番のいい所です。

〈受賞コメント〉この度はこのような賞をいただきありがとうございます。昨年、春と秋モチーフの招き猫を制作したので今回は夏冬ペアに挑戦しました。招き猫の片手を上げて固まったポーズにデザインを考えるのは難しかったですが、方向性を決めた後は次々にアイデアが湧き、とても楽しく作ることができました。並べて飾って季節ごとの福を招いてくれるようお願いを込めました。

